

第6次竹原市総合計画

第2期竹原市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【まちづくりの基本理念】
 「生まれて良かった、住んで良かった、帰ってきたい、住んでみたい」と思える元気な竹原市の実現

【まちづくりの基本的視点】
 ・人を活かす
 ・地域資源を活かす

【将来都市像】
 元気と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市。



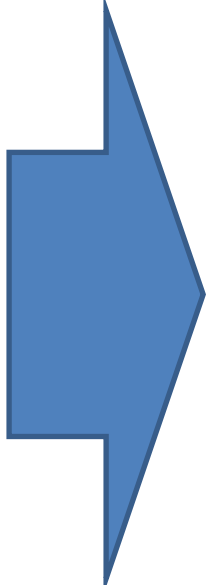
【10年後の将来像】

【将来像1】
 自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち

【将来像2】
 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち

【将来像3】
 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち

【将来像4】
 瀬戸内海の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち



基本目標 1
 しごとをつくり安心して働けるようにする竹原への新しいひとの流れをつくる

【数値目標】
 ○転出超過数
 320人 (H30) → 144人 (R6)
 ○人口に対する個人の市町村民税の納税義務者数の割合
 36.5% (H30) → 36.5% (R6)

基本目標 2
 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】
 ○人口千人あたりの出生率
 4.04% (H30) → 5.04% (R6)

基本目標 3
 年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちをつくる
 竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する

【数値目標】
 ○平均自立期間（要介護2以上）
 男性 79.5歳 (H29) → 79.8歳 (R6)
 女性 84.9歳 (H20) → 84.2歳 (R6)
 ○市の女性人口に対する給与収入のある女性人口の割合
 41% (H30) → 46% (R6)
 ○市の65歳以上人口に対する給与収入のある65歳以上人口の割合
 25% (H30) → 25% (R6)
 ○地域交流センターの利用人数
 125,775人 (H30) → 140,000人 (R6)
 ○観光消費額
 2,847百万円 (H30) → 3,060百万円 (R6)

施策の方向性

仕事づくり

- 1 魅力ある雇用の確保
- 2 創業の促進
- 3 地域産業の促進

移住・定住の促進

- 1 まちへの誇りと愛着の醸成
- 2 U・I・Jターンの促進
- 3 暮らしやすい環境の創出

少子化対策

- 1 出会い・結婚のサポート
- 2 妊娠・出産への切れ目のない支援
- 3 子育て支援

地域力の強化

- 1 健康なまちづくりの推進
- 2 多様な人材の活躍促進
- 3 地域を支え活躍する人材の育成・環境づくり
- 4 企業等との連携強化
- 5 関係人口の創出・拡大

まちの魅力向上

- 1 歴史・文化を活かしたまちづくりの推進
- 2 地域資源を活かした観光・交流の更なる推進

令和2年度主な新規・拡充事業等

- ・サテライトオフィス等誘致促進事業
- ・地域おこし協力隊事業
- ・築磯漁場整備事業
- ・農業振興地域整備計画更新事業

- ・シティプロモーション事業
- ・コミュニティ・スクール導入事業
- ・未来の人材育成推進事業（Uターン促進分）
- ・駅前賑わい空間再生事業
- ・地域公共交通推進事業
- ・国土強靱化地域計画策定事業

- ・婚活イベント支援事業
- ・たけのここども園運営事業
- ・乳幼児等医療費助成事業

- ・介護予防支援事業
- ・障害者計画等支援事業
- ・地域生活支援体制整備事業
- ・未来の人材育成推進事業（義務教育グローバル化促進分）
- ・シティプロモーション事業（再掲）

- ・日本遺産（北前船寄港地）活用事業
- ・景観計画策定事業
- ・観光プロモーション事業